



福島医発第 3499 号(地)
令和 4 年 3 月 15 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

武田／モデルナ社ワクチンのバイアルのゴム栓形状変更について

今般、厚生労働省より日本医師会を通じて、武田薬品工業株式会社から武田／モデルナ社ワクチン（販売名：「スパイクバックス™筋注」）のバイアルに使用するゴム栓の形状が変更された旨、情報提供がありました。

なお、同社からは、今回の変更にあたり、①ゴム栓の形状変更以外には一切変更はない、②今回のゴム栓の形状変更は武田／モデルナ社ワクチンの安定供給を保持するための対応であり、変更後のゴム栓の材質、品質及び機能は従来のゴム栓と同様、③従来のゴム栓を使用したバイアルと、変更後のゴム栓を使用したバイアルが同時に配送される可能性もあるとされております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 橋本朋也
会長 島田昇二郎

(健Ⅱ584F)
令和4年3月1日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

釜 菫 敏

武田／モデルナ社ワクチンのバイアルのゴム栓形状変更について

今般、厚生労働省より各都道府県等衛生主管部（局）宛て、標記の事務連絡がなされましたのでご連絡申し上げます。

本事務連絡は、武田／モデルナ社ワクチン（販売名：「スパイクバックスTM筋注」）のバイアルに使用するゴム栓の形状が変更された旨、武田薬品工業株式会社からの情報を連絡するものです。

なお、同社からは、今回の変更について、「ゴム栓の形状変更以外には一切変更はない」、「武田／モデルナ社ワクチンの安定供給を保持するための対応であり、変更後のゴム栓の材質、品質及び機能は従来のゴム栓と同様」、「従来 of ゴム栓を使用したバイアルと、変更後のゴム栓を使用したバイアルが同時に配送される可能性もある」としています。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、貴会管下郡市区医師会および関係医療機関に対する情報提供についてよろしくお願い申し上げます。

事 務 連 絡
令和 4 年 2 月 25 日

各

都道府県
市 町 村
特 別 区

 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室

武田/モデルナ社ワクチンのバイアルのゴム栓形状変更について

武田/モデルナ社ワクチン（販売名：「スパイクバックス™筋注」）については、追加接種の容量（1回0.25ml）として20回接種分の薬液が充填されたバイアルをお配りしているところですが、今般、武田薬品工業株式会社より、別添「『スパイクバックス™筋注』のバイアルゴムキャップ（ゴム栓）の形状変更について」のとおり、バイアルに使用するゴム栓の形状が変更されたとの連絡がありましたのでお知らせします。

各自治体におかれましては、接種会場においてゴム栓の形状変更に伴う混乱が生じないよう、適切に情報提供いただくようお願いいたします。

なお、武田薬品工業株式会社からの情報によれば、

- ① ゴム栓の形状変更以外には一切変更はない
- ② 今回のゴム栓の形状変更は武田/モデルナ社ワクチンの安定供給を保持するための対応であり、変更後のゴム栓の材質、品質及び機能は従来のゴム栓と同様
- ③ 従来のゴム栓を使用したバイアルと、変更後のゴム栓を使用したバイアルが同時に配送される可能性もある

とのことですので、あわせてお伝えします。

以上

別添

令和4年2月25日

厚生労働省 健康局 健康課 予防接種室 御中

武田薬品工業株式会社

「スパイクバックスTM筋注」のバイアルゴムキャップ（ゴム栓）の形状変更について

当社が販売する「スパイクバックスTM筋注」のバイアルゴムキャップ（ゴム栓）の形状を変更しましたので、ご案内申し上げます。詳しくは次頁をご参照ください。当該変更に関する医療機関又は接種会場への情報提供活動は2月25日より行います。

以上

2022年2月

医療関係者の皆様へ

武田薬品工業株式会社

「スパイクバックス™筋注」のバイアルゴムキャップ(ゴム栓)の形状変更品の流通開始のご案内

謹啓

平素は弊社製品に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社が販売する「スパイクバックス™筋注」について、バイアルゴムキャップ(ゴム栓)の形状を変更した製品(変更品)の流通を開始しました。

そのため、従来品と変更品とが同時に流通することになりますのでご案内申し上げます。

謹白

形状変更品について

従来品で明示されていた中央サークルが無い形状のゴム栓を用いた製品です。
形状は変更となりましたが、材質及び品質、ゴム栓の機能は従来品と同じです。



※ なるべく中心部で2回目以降は同じ場所を避けて穿刺する等、コアリングを発生させないように注意してください。

形状変更品の生産の理由

全世界で需要が増加している本ワクチンの安定供給を保持するための対応です。